

平成 29 年度「Special プロジェクト（特別支援学校等を活用  
した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」

委託事業成果報告書

神戸市教育委員会

本報告書は、スポーツ庁委託「Specialプロジェクト（特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業）」として、神戸市教育委員会が実施した平成29年度の事業成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

## 目 次

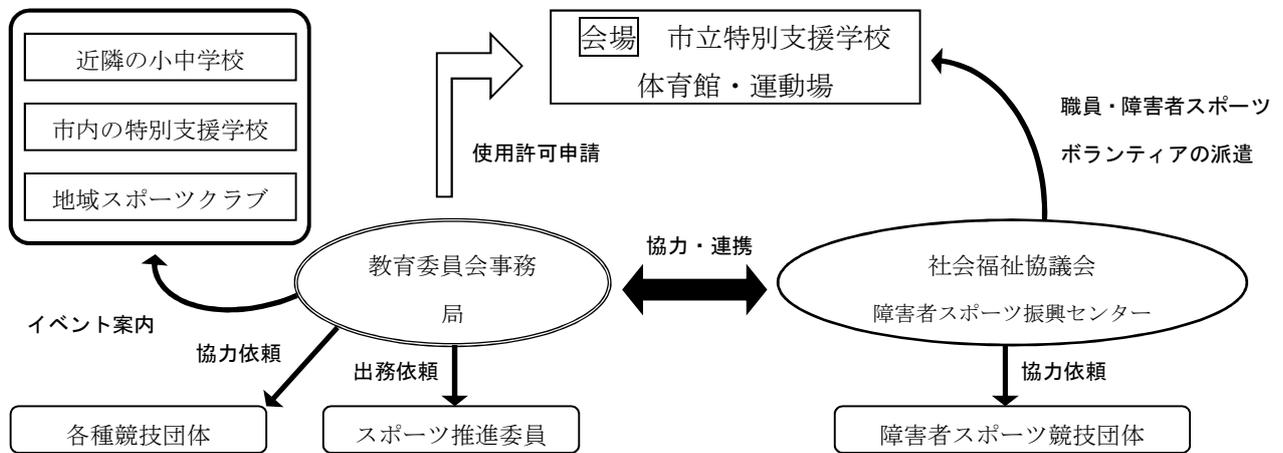
1	事業の目的	2 頁
2	事業イメージ	2 頁
3	実施日程	3 頁
4	事業実施体制	3 頁
5	実施報告 【平成 29 年 9 月 30 日実施「やってみよう！！パラスポーツ体験会」】	4～7 頁
	実施報告 【平成 30 年 2 月 4 日実施「第 2 回 やってみよう！！パラスポーツ体験会」】	8～11 頁
6	事業の効果	11 頁
7	反省点・改善点	11 頁



### 3 実施日程

実施時期	実施事項	
	(1) 地域交流型イベント	(2) 実行委員会
平成 29 年 7 月 25 日		第 1 回実行委員会
平成 29 年 9 月 30 日	事業実施 (1 部 2 時間)	
平成 30 年 1 月 18 日		第 2 回実行委員会
平成 30 年 2 月 4 日	事業実施 (1 部 2 時間)	

### 4 事業実施体制



## 5 実施報告

### 【平成 29 年 9 月 30 日実施「やってみよう！！パラスポーツ体験会」】

#### 1. イベント概要

事業名 : 「やってみよう！！パラスポーツ体験会」

日時 : 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 9:00～11:00 (受付 8:30～)

場所 : 神戸市立青陽須磨支援学校 体育館及びグラウンド

〒654-0155 神戸市須磨区西落合 1-1-4

参加対象 : 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、地域のスポーツ推進委員

実施内容 : 障害者サッカー・卓球バレー・ふうせんバレー・ビームライフル・ボッチャ

主催 : 神戸市教育委員会事務局スポーツ体育課 (国際スポーツ室)

協力団体 : 神戸市サッカー協会、神戸市障害者射撃協会、神戸市障害者スポーツ振興センター、  
神戸市スポーツ推進委員協議会、神戸市障害者スポーツボランティア、  
神戸市立青陽須磨支援学校、兵庫県ボッチャ協会

#### 2. 募集方法

神戸市立の特別支援学校 4 校 (青陽須磨支援学校・いぶき明生支援学校・青陽東養護学校・友生支援学校) の児童・生徒および保護者に学校経由でチラシを配布。

参加申し込みは神戸市教育委員会事務局スポーツ体育課宛の F A X 又は電子メールで受け付け。

4 校の教頭先生には当日参加者の情報を共有。

#### 3. 当日の流れ

08:00 学校着、準備開始。

08:30 参加者受付開始

1 F 正面玄関に設営した受付にて受付簿記入。感想や学んだことをメモするためのノートとボールペンを配布。

サッカーの体験を希望する人も開始当初は一旦体育館に集合。

09:00 ・開始の挨拶【山田室長】

・写真撮影等の注意事項について事務連絡。

09:05 ・各競技の簡単な概要説明【各競技団体】

(ボッチャ ⇒ 障害者サッカー ⇒ 卓球バレー ⇒ ふうせんバレー ⇒ ビームライフル)

・神戸市障害者射撃協会によるビームライフルのデモンストレーション

09:10 体験開始

障害者サッカーを体験する場合はグラウンドに、その他のスポーツを体験する場合は体育館に分かれて実施。

※体験のルール

・体験会実施中は好きなスポーツを何度体験しても OK。

・原則、途中退出は認めない。やむを得ない場合、受付に伝えて退出する。

※各体験コーナーの運営

- ・障害者サッカー…神戸市サッカー協会
- ・卓球バレー …障害者スポーツ振興センター
- ・ビームライフル…神戸市障害者射撃協会
- ・ふうせんバレー…障害者スポーツ振興センター
- ・ボッチャ …兵庫県ボッチャ協会

10:55 体験会終了。

- ・グラウンドでサッカー体験をしている人も含めて体育館に全員集合。
- ・終了の挨拶【青陽須磨支援学校 上野校長先生】
- ・改めて撮影写真の取り扱いについて周知。

11:00 出口で記念品配布。

片付け開始。

11:40 片付け完了。青陽須磨特別支援学校教頭先生による確認後、撤収。

#### 4. 参加実績

(1) 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、地域のスポーツ推進委員 (61人)

※特別支援学校：青陽須磨支援学校・いぶき明生支援学校・青陽東養護学校・友生支援学校

青陽須磨支援学校 30人 (子ども16人+保護者14人)

いぶき明生支援学校 13人 (子ども7人+保護者6人)

青陽東養護学校 6人 (子ども3+保護者3人)

友生支援学校 4人 (子ども3+保護者1人)

神戸市スポーツ推進委員協議会 9人

小学部	7
中学部	4
高等部	15
保護者・兄弟	26
スポーツ推進委員	9

61

※参加者の位置付けで参加 (受付業務等をお願いした。)

(2) 競技団体等運営体制 (37人)

障害者スポーツ振興センター職員 3人

障害者スポーツボランティア 7人

神戸市サッカー協会 11人

神戸市障害者射撃協会 7人

兵庫県ボッチャ協会 2人

青陽須磨支援学校 2人

国際スポーツ室 5人

参加・運営 合計98人

5. 当日の様子

①全体の様子



②ビームライフル



③障害者サッカー



④ボッチャ



⑤卓球バレー



⑥ふうせんバレー



⑦閉会挨拶（青陽須磨支援学校 上野校長）



⑧受付



## 【平成 30 年 2 月 4 日実施「第 2 回 やってみよう！！パラスポーツ体験会」】

### 1. イベント概要

事業名 : 「第 2 回 やってみよう！！パラスポーツ体験会」

日時 : 平成 30 年 2 月 4 日 (日) 10:00～12:00 (受付 9:30～)

場所 : 神戸市立いぶき明生支援学校 体育館・多目的ルーム及びグラウンド

〒651-2243 神戸市西区井吹台西町 7 丁目 1 番地

参加対象 : 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、近隣学校の在学する児童・生徒とその家族、地域のスポーツ推進委員 等

実施内容 : サッカー・卓球バレー・ふうせんバレー・吹矢・ビームライフル・ボッチャ

主催 : 神戸市教育委員会事務局スポーツ体育課 (国際スポーツ室)

協力団体 : 神戸市サッカー協会、神戸市障害者射撃協会、神戸市障害者スポーツ振興センター、神戸市スポーツ推進委員協議会、神戸市障害者スポーツボランティア、神戸市立いぶき明生支援学校、兵庫県ボッチャ協会・兵庫県身体障害者吹矢協会

### 2. 募集方法

神戸市立の特別支援学校 4 校 (青陽須磨支援学校・いぶき明生支援学校・青陽東養護学校・友生支援学校) と井吹西小学校・井吹東小学校・井吹の丘小学校の児童・生徒および保護者に学校経由でチラシを配布。

参加申し込みは神戸市教育委員会事務局スポーツ体育課宛の F A X 又は電子メールで受け付け。各校の教頭先生には当日参加者の情報を共有。

### 3. 当日の流れ

09:00 学校着、準備開始。

09:30 参加者受付開始。

1 F 正面玄関に設営した受付にて受付簿記入。感想や学んだことをメモするためのノートとボールペンを配布。

サッカーの体験を希望する人も開始当初は体育館に集合。

10:05 開始の挨拶【山田室長】

写真撮影等の注意事項について事務連絡。

10:10 各競技の簡単な概要説明【各競技団体】

10:15 体験開始

サッカーを体験する場合はグラウンドに、卓球バレー・ふうせんバレー・ボッチャを体験する場合は体育館に、ビームライフル・吹矢を体験する場合は多目的ルームに分かれて実施。

※体験時のルール

・体験会実施中は好きなスポーツを何度体験しても OK。

・やむを得ず途中退出する場合は、受付に伝えて退出する。

※各体験コーナーの運営

- ・サッカー…神戸市サッカー協会
- ・卓球バレー …障害者スポーツ振興センター
- ・ビームライフル…神戸市障害者射撃協会
- ・ふうせんバレー…障害者スポーツ振興センター
- ・吹矢 …兵庫県身体障害者吹矢協会
- ・ボッチャ …兵庫県ボッチャ協会

11:55 体験終了。

- ・グラウンドでサッカー体験をしている人も含めて体育館に全員集合。
- ・終了の挨拶【いぶき明生支援学校 崎川教頭先生】
- ・改めて撮影写真の取り扱いについて注意いただくよう周知。

12:00 出口で記念品（スポーツ関係ノベルティ等）配布。

片付け開始。

12:30 片付け完了。いぶき明生支援学校崎川教頭先生の点検後、撤収。

#### 4. 参加実績

(1) 特別支援学校に在学する児童・生徒とその家族、近隣学校に在学する児童・生徒とその家族  
地域のスポーツ推進委員（54人）

※特別支援学校：青陽須磨支援学校・いぶき明生支援学校・青陽東養護学校・友生支援学校

※近隣学校：井吹西小学校・井吹東小学校・井吹の丘小学校

いぶき明生支援学校 16人（子ども9人+保護者7人）

青陽須磨支援学校 16人（子ども10人+保護者6人）

青陽東養護学校 2人（子ども1人+保護者1人）

友生支援学校 2人（子ども1人+保護者1人）

井吹東小学校 13人（子ども6人+保護者7人）

井吹西小学校 0人（子ども0人+保護者0人）

井吹の丘小学校 0人（子ども0人+保護者0人）

神戸市スポーツ推進委員協議会 5人

※別途青陽東支援学校の学校関係者が1名見学。

	小学部	中学部	高等部	保護者・兄弟	スポーツ推進委員	合計
いぶき明生支援学校	4	2	2	8	-	16
青陽須磨支援学校	3	1	6	6	-	16
青陽東支援学校	0	0	1	1	-	2
友生支援学校	0	1	0	1	-	2
井吹東小学校	4	-	-	9	-	13
井吹西小学校	0	-	-	0	-	0
井吹の丘小学校	0	-	-	0	-	0
他	0	-	-	0	5	5
合計	11	4	9	25	5	54

(2) 競技団体等運営体制 (40人)

障害者スポーツ振興センター職員 3人

障害者スポーツボランティア 8人

神戸市サッカー協会 10人

神戸市障害者射撃協会 6人

兵庫県ボッチャ協会 3人

兵庫県身体障害者吹矢協会 4人

いぶき明生支援学校 1人

国際スポーツ室 5人

参加・運営 合計 94人

5. 当日の様子

①受付



②開会式



③ボッチャ



④卓球バレー



⑤ビームライフル



⑥吹矢



⑦ふうせんバレー



⑧サッカー



⑨閉会式



## 6. その他

- ・参加申込は前回実施時（9月）より多かったが、インフルエンザの流行による学級閉鎖や体調不良による等の理由で、直前の欠席や当日欠席が多く、参加者は前回実施時よりも少なかった。

## 6 事業の効果

- ・特別支援学校及び近隣小中学校の児童・生徒が、これまで経験したことのないスポーツ競技に取り組むことで、障害者スポーツの理解につながった。特に、児童によっては、1回目に開催した事業でスポーツ競技に興味を持ったため、2回目の事業にも引き続き申し込むなど、障害者スポーツの振興につなげることができた。
- ・特別支援学校の障害を持った児童・生徒と近隣小中学校の健常者の児童・生徒が、スポーツを通じて交流することができ、障害者への理解促進を果たすことができた。
- ・障害者スポーツ団体の協力を得て実施したが、本格的な競技実施の様子を生徒・児童が「みる」ことで、東京2020パラリンピックの機運醸成の一環となった。
- ・これまで特別支援学校を訪問したとこない地域の住民が事業に参加することで、特別支援学校に対する地域の理解促進につながった。

## 7 反省点・改善点

- ・時間内に事業が終わらなかったことがあったため、時間に余裕を持って取り組む必要がある。
- ・特別支援学校によっては位置が分かりづらいため、分かりやすい地図など案内の配慮が必要である。
- ・平成30年度も事業を継続する際には、この度の反省点をもとに改善につなげられればと考える。